



光星あす龍谷大平安戦 かく戦う

全国高校野球選手権の2回戦(15日第4試合)で対戦する本県代表の八学光星の仲井監督と龍谷大平安(京都)の原田監督が13日、本紙などの取材に応じた。光星はこれまで、平安に春のセンバツでの連敗中。



仲井監督は「なんとかが乗り越えたい」と意気込みを語った。互いの印象は「互いの印象、初戦でサヨウラ勝ちを取った。普通、100勝を達成した平安。仲井監督は伝統的守備が堅く、原田監督の強い意がチームに透している」と。

最後まで粘り強く

主戦小寺は直球も力強く制球も良しと警戒した。一方、原田監督は、初戦を延長の末に競り勝った光星を「攻守ともにしっかりしている。チーム力も高く、二塁手で一番力がある」と評価した。投手陣の経験も豊富だし、打線は特に左打者が良いスイングをしていると注意する。

つなぐ打撃で勝機

仲井監督は初戦無安打の志賀選手を挙げ、「少し調子を落としているが、悔みを感じてくれば」と期待。投手では「初戦で連続した3人の力を合わせて戦う」。原田監督は「バッテリがいかに失点を少なからせようとするか」と語り、「京都会場のよきに併い、つなげる打撃をする。エースの小寺がよくなってきている。もう少し余裕を持ってできれば」と目標も口にした。(高松拓輝)

光星 打撃練習に集中 相手エースの投球想定



次戦の龍谷大平安を想定し、打撃練習に集中する八学光星選手。兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海野球場

全国高校野球選手権で野球場で打撃を中心に練習を取り組んだ。1回戦を突破した八学光星は13日、2回戦の龍谷大平安(京都)戦(15日)に備え、エース小寺の投球を想定し、打撃練習に集中する。初戦を終えた選手たちの緊張の糸が緩んだように見えた。仲井監督は前日の練習中、選手たちに「いい感じに調整されている」と手応えを語った。主将長谷川は「初戦の課題を忘れ確認しながら練習に取り組めた。初戦で本塁打を2本打ったのは、本塁打はいいから、エースやバットなど、状況で目の役割を果たす。勝負したい」と意気込みを見せた。(秋村有香)

伊藤 大将 内野手(2年)



初戦、終盤の負傷から一見選手がいない緊張を通り越して、家族や地元の人から応援の声が聞かれた。

自分も活躍したい

から「最後出てたなと連絡をもらい、応援してくれる人のためにも頑張りたい」と意気込む。同級生の武岡らの活躍にうつつしている。次に当たる龍谷大平安は、中学時代に戦った同年のレギュラーがいる。自分も活躍したい。いつでも出れる準備していると張り切る。(大阪府・豊川九中出身、178センチ、70キロ、右投げ右打ち)